

令和3年度事業実績について
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

1 事業活動概況

県民の総合的な健康づくりを積極的に推進するため、健（検）診・検査、健康づくり支援事業、普及啓発等の各種事業のより一層の質の向上と充実に取り組んだ。

また、健（検）診・検査事業における精度管理の徹底、県や市町村と連携した健（検）診受診率向上への取り組み、豊富な健診情報を基にした調査分析活動への積極的な取り組み等を推進した。

2 各事業概要

地域保健では新型コロナウイルス感染症の拡大以前の健（検）診・検査数に徐々に回復しつつあり、職域保健の健（検）診・検査数は増加傾向にある。

(1) 健（検）診・検査事業

① 地域保健

広く県民の受診機会の拡大が図られるよう、県、市町村及び各地区の医療機関と連携を図りながら、各種健（検）診・検査を実施した。

主な健（検）診・検査

(単位：件)

項 目	3年度 実施数(A)	2年度 実施数(B)	増減 A-B
特定健康診査	19,716	19,696	20
特定保健指導	375	385	△ 10
胸部X線検診(結核健康診断)	59,876	55,794	4,082
がん検診	91,567	84,513	7,054
胃がん検診	11,618	11,371	247
肺がん検診	32,156	26,199	5,957
肺がんCT検診	11,940	11,514	426
大腸がん検診	13,160	14,118	△ 958
子宮頸がん検診	9,215	8,792	423
乳がん検診	7,137	6,032	1,105
前立腺がん検診	6,341	6,487	△ 146
胃がんリスク検査	1,714	2,184	△ 470
腹部超音波検診	858	712	146
骨粗鬆症検診	1,219	1,178	41
合 計	175,325	164,462	10,863

② 職域保健

職場での健康診断と併せて、その事後措置としての保健指導や運動指導等を実施することにより、労働者の健康増進に取り組んだ。

主な健（検）診・検査

(単位；件)

項 目	3年度 実施数(A)	2年度 実施数(B)	増減 A-B
特定健康診査	887	561	326
特定保健指導	656	841	△ 185
胸部X線検診(結核健康診断)	62,210	61,302	908
一般健康診断(協会けんぽ含む)	62,245	60,455	1,790
特殊健康診断	4,748	4,403	345
指導勧奨による健康診断	2,038	2,315	△ 277
がん検診	34,749	32,843	1,906
胃がん検診	11,335	11,374	△ 39
肺がん検診	464	379	85
肺がんCT検診	2,108	1,365	743
大腸がん検診	13,347	12,643	704
子宮頸がん検診	3,270	3,045	225
乳がん検診	1,930	1,780	150
前立腺がん検診	2,295	2,257	38
腹部超音波検診	1,884	1,835	49
骨粗鬆症検診	970	896	74
合 計	170,387	165,451	4,936

- ・一般健康診断(雇入時・定期・特定業務従事者・給食従事者の検便)
- ・特殊健康診断(じん肺・石綿・有機溶剤・鉛・特定化学物質・電離放射線等)
- ・指導勧奨による特殊健康診断(VDT作業・振動業務等)

③ 学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査、心臓検診に加え、結核健康診断、小児生活習慣病予防健診などの各種健（検）診・検査事業を実施し、児童、生徒の健全な育成、疾病の早期発見や予防に資する。

なお、令和3年度より脊柱側彎症検診は廃止した。

(単位；件)

項 目	3年度 実施数(A)	2年度 実施数(B)	増減 A-B
結核健康診断	10,275	10,352	△ 77
寄生虫卵検査	4,503	5,883	△ 1,380
尿検査（腎臓病、糖尿病検査）	102,075	103,611	△ 1,536
心臓検診	7,680	8,075	△ 395
脊柱側彎症検診	0	7,889	△ 7,889
学校貧血検査	18,723	18,758	△ 35
小児生活習慣病予防健診	2,841	2,836	5
合 計	146,097	157,404	△ 11,307

④ 母子保健

新生児の先天性代謝異常や内分泌異常の早期発見・早期治療を目的に、タンデムマス法による新生児マススクリーニング検査を実施した。

令和2年度より、検査対象疾患を拡大し、重症複合型免疫不全症とライソゾーム病の検査を有料事業（個人負担を要する検査）として開始した。

(単位；件)

項 目	3年度 実施数(A)	2年度 実施数(B)	増減 A-B
先天性代謝異常等検査	8,890	9,149	△ 259
重症複合型免疫不全症	6,164	4,791	1,373
ライソゾーム病	6,164	4,791	1,373

⑤ 人間ドック

生活習慣病の予防及び疾病の早期発見を目的に、協会の施設や機能を生かした検査内容やコースの設定等、受診者にとって利便性の高い人間ドックを実施した。

(単位；件)

項 目	3年度 実施数(A)	2年度 実施数(B)	増減 A-B
人間ドック	1,075	986	89

⑥ クリニック（個人の健康診断）

就職や進学時に必要な診断書作成のため、健康診断を実施した。

- ・ 一般健康診断
- ・ 就職、進学時健康診断
- ・ 腸内細菌検査

（単位：件）

項目	3年度 実施数(A)	2年度 実施数(B)	増減 A-B
クリニック	687	632	55

（2）精度管理の強化

① 各種委員会の設置、運営

協会が実施する健康診断、各種検査、保健指導等の各種業務について、その精度を維持・向上を目的とし、健（検）診精度管理委員会及び各種専門委員会を定期的で開催しているが、令和3年度は書面開催となった委員会がある。

<各種専門委員会（9部門）>

生活習慣病、結核・肺がん、肺がんCT、乳がん、新生児マススクリーニング、消化器がん、子宮がん、超音波検査、小児保健

② がん検診の精度管理

がん検診の精度管理を図るために、検査結果の調査を行い、がん検診の精度に必要な指標の取りまとめを行った。

（令和2年度 各がん検診のプロセス指標値）

（単位：％）

項目	胃がん	肺がん	肺CT	大腸がん	乳がん	子宮がん
検診受診者数 A	22,745	26,578	12,879	26,761	7,812	11,837
要精検者数 B	761	414	299	1,761	313	287
要精検率 B/A	3.35	1.56	2.32	6.58	4.01	2.42
精検受診者数 C	638	372	266	1183	291	238
精検受診率 C/B	83.84	89.86	88.96	67.18	92.97	82.93
発見がん数 D	17	32	22	31	35	3
がん発見率 D/A	0.07	0.12	0.17	0.12	0.45	0.03
陽性反応的中度 D/B	2.23	7.73	7.36	1.76	11.18	1.05

（令和3年度 各がん検診のプロセス指標）

項目	胃がん	肺がん	肺CT	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
検診受診者数 A	22,953	32,620	14,048	26,507	9,067	12,485
要精検者数 B	811	474	290	1,743	325	291
要精検率 B/A	3.53	1.45	2.06	6.58	3.58	2.33

<参考> 各がん検診におけるプロセス指標 許容値 (単位：%)

項目	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
要精検率	11.0 以下	3.0 以下	7.0 以下	11.0 以下	1.4 以下
精検受診率	70.0 以上	70.0 以上	70.0 以上	80.0 以上	70.0 以上
がん発見率	0.11 以上	0.03 以上	0.13 以上	0.23 以上	0.05 以上
陽性反応的中度	1.0 以上	1.3 以上	1.9 以上	2.5 以上	4.0 以上

※厚生労働省：今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について（報告書）より

<参考> 日本対がん協会まとめ全国平均（令和2年度） (単位；%)

項目	胃がん	肺がん	肺CT	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
要精検率	5.4	1.9	2.7	6.0	4.3	1.6
精検受診率	78.0	78.3	72.6	65.1	89.1	80.8
がん発見率	0.09	0.04	0.11	0.15	0.26	0.01
陽性反応的中度	1.62	2.26	3.99	2.44	6.02	0.78

③ 職員の資質向上

人間ドック学会、日本消化器検診学会、日本医師会、県医師会、日本対がん協会等の上部組織が行う精度管理事業に積極的に参加する。

また、各種技術研修会等へ積極的に職員を派遣し、関係職員の更なる技術向上に努めるとともに、事業を実施していく上で特に必要の高い「胃がん検診専門技師」「細胞検査士」や「健康運動実践指導者」、「日本乳がん検診精度管理中央機構」などの認定資格等の取得を目指した。

(3) 健康づくり支援

健康寿命の延伸や健康格差の縮小には、本県健康事情を把握し、生活習慣病の発症予防の徹底を図ることが重要であるため、循環器疾患、がん、糖尿病の予防を中心として、健康づくりの支援を展開した。

① 健診データ解析情報のフィードバック

協会が実施した健診データを解析し、これらの情報を保健所、市町村、職場、学校等にフィードバックすることにより、それぞれの団体の健康課題を明確にするとともに、各団体における健康づくりを支援した。

② 保健指導の充実及び研修会、教室等の開催

生活習慣病発症予防を目的とした特定保健指導をはじめとする健診後の指導を展開し、個々の生活習慣の改善に繋げていった。

内 容		令和3年度実施数（人）	2年度実績数（人）
特定 保健指導	動機付け支援	549人	618人
	動機付け支援相当	18人	34人
	積極的支援	464人	574人
一般保健指導		169人	137人
講師派遣による健康講話		1,871人（59回）	1,726人（52回）

※健康講話の内容

実施者：医師・保健師・管理栄養士・健康運動指導士

内 容：「糖尿病予防」について

「小児生活習慣病予防」について

「生活習慣病予防」について

「がんに関する教育」について

「簡単にできる運動・肩こり・腰痛予防改善、親子で楽しむ運動」について

「野菜摂取向上など食生活」について 等

③ 電話勧奨事業

市町村が実施するがん検診の受診率の向上を図るために、効果があるとされている個別の受診勧奨・再勧奨事業を企画したが、市町村からの要望がなく実施には至っていない。

（４）普及啓発等

県民が主体的に検診を受診し、生活習慣を改善するなどの積極的な行動を実践するよう、県民に対する啓発活動に取り組んだ。

① 健康情報の発信

- ・協会ホームページの内容を充実し、幅広い層への広報を強化した。
- ・広報誌「サンテ宮崎」（年４回：各４,０００部）の内容をさらに充実し、健康情報の提供を行った。
- ・テレビ・ラジオ等による情報発信（健康情報番組への協力、情報提供）
コロナ感染拡大防止のため、街頭やイベントによる啓発が困難であったためメディアでの啓発を行った。
UMK「Re らいふ」、ケーブルテレビ「きらり健康塾・マックン情報局」、
「ミュージックサプリ」「スクーピー」等出演

② 講演会や研修会、健康イベント等の開催

- ・県民向けの健康講演会や健康チェック等のイベントの開催

<Karada Good Miyazaki フェスタ 2021>

イベントに行くついでに特定健診やがん検診を受診できるよう同時刻に健（検）診を行った。フェスタ会場（JAアズム）では健康チェック等も行った。

来場者数 約 5,000 名

受診者数 38 名（特定、後期、協会けんぽ、各種がん検診等）

- ・市町村、職域、学校の健康管理担当者向けの研修会の開催

＜第20回 健康づくりセミナー＞

オンデマンド配信（3月14日から3月31日）

特別講演 精神科医 名越康文 「こころの健康大丈夫？」

講演 歯科医師 林 正太郎「事業所における定期歯科検診の重要性」

聴講数 210回

③ 他団体との連携による啓発

市町村や他団体が行う健康関連行事と連携し、啓発ブースの設置や検診車の見学等を行い、健診に関する理解を深める啓発を行う予定であったが、コロナ禍のため実施できなかった。

④ 上部団体（（公財）結核予防会、（公財）日本対がん協会）と連携した広報啓発

- ・結核予防週間（9月下旬）及び複十字シール運動（8月～12月）

コロナ禍のため街頭キャンペーンはできなかったが、結核や胸部疾患の予防、早期発見・早期治療を訴えるため、イベント時にチラシ等で啓発を行い、結核等の予防啓発事業等に活用するための複十字シール募金活動を行った。

令和3年度募金額 1,504,209円（募金目標額 1,860,000円）

- ・がん征圧月間（9月）

コロナ禍のため今年度も街頭キャンペーンを開催できなかったが、県民向けにテレビや新聞等で啓発を行った。また、市町村・学校・事業所に啓発ポスターを配布し啓発を行った。

- ・2021年度がん征圧全国大会 宮崎大会

「日本のひなた宮崎「ひなたのチカラ」でがん征圧」を大会テーマとし、全国47か所を結んでオンラインで開催した。大会の様子は75か所がYouTube配信を視聴し、その後のオンデマンド配信は600回の視聴があった。

開催日 令和3年9月8日（宮崎県総合保健センター 大研修室）

開催内容 大会・式典 13:00～13:50

シンポジウム 14:00～15:30

共催 （公財）日本対がん協会

※ 本大会は、令和2年度に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け1年延期されたものである。

(5) 県委託事業等

① 宮崎県健康づくり推進センター管理運営等業務

健康づくりに携わる人材育成

・健康増進計画評価支援事業

計画や事業評価のための評価支援研修会開催や支援者育成研修会

(実績: 評価支援研修会 令和3年8月26日にオンラインにて開催)

支援者育成研修会 令和3年11月5日にオンラインにて開催)

・健診・保健指導従事者研修事業

特定健診・保健指導に係る技術的支援に関する研修会

(実績: 初任者研修会 令和3年7月2日に対象者を限定して集合開催)

経験者研修会 令和3年12月2日に対象者を限定して集合開催)

・母子保健指導員研修事業

母子保健活動の向上を図ることを目的とした研修会

(実績: 令和3年10月7日に集合及びオンラインにて開催)

・健康づくり推進員等育成事業

健康づくり推進員等を対象とした研修会

(実績: 令和3年9月24日にメディキット県民文化センターにて集合開催)

・食生活改善推進員育成事業

食生活改善推進委員に対する研修会

(実績: 令和3年11月24日にメディキット県民文化センターにて集合開

催)

・運動指導者育成事業

運動指導に取り組む指導者育成のための実技を含めた講習会

(実績: 令和3年8月23日に対象者を限定して集合開催)

健康づくりにおける情報発信・調査研究

・健康情報分析発信事業「健康づくり推進センターHP」の運用

市町村等の政策の企画立案や評価等に活用できるよう、県内の健康寿命等の各種健康情報を発信。

(令和3年度アクセス数 71,343件、令和3年度 33,193件)

・地域健康推進研究事業

健康づくりに関する調査・研究の成果及び先駆的な取り組みの研究発表

(実績: 令和3年7月12日に集合開催)

がん検診の受診率向上及び精度管理

- ・がん情報分析・発信事業「がんネットみやざき」HPの運用
県内のがん検診受診率等がんに関するデータを情報発信。
(令和3年度アクセス数 13,616件、令和2年度 11,720件)
- ・がん検診受診促進事業「がん検診受診率向上プロジェクト」
早期発見を推進し、死亡者数の減少を図る官民協働での受診率向上の取組。
(実績：啓発グッズの作成及び配布、SNSを活用した啓発としてマチコミアプリに広告を掲載)
- ・ピンクリボン活動みやざき事務局運営
乳がんの早期発見、早期診断、早期治療の重要性を訴えるためのピンクリボン活動を円滑、効果的に実施することを目的とし、賛同団体とともにピンクリボン活動の企画及び運営を行った。
なお、活動費は賛同団体の協賛金や募金・寄付金等である。
(実績：乳がん月間(10月)TVCM、街頭TV、バナー装飾等で受診啓発
乳がん患者への助成金応援事業(たちばな基金)の設立)
- ・生活習慣病検診管理指導協議会運営事業(胃・肺・乳・子宮・大腸がん)
生活習慣病の動向を把握し、市町村や検診実施機関の行う検診の精度管理の状況を把握・評価し、専門的な見地から適切な指導を行うことを目的とし、同協議会を設置・運営。
(実績：5部会のうち、大腸がん部会と乳がん部会の2部会を開催、胃がん部会、子宮がん部会、肺がん部会については書面にての開催とした)

② 糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防調査・分析事業

糖尿病対策における保険者や医療機関の取組を把握し、評価することにより、各団体及び医療圏等の課題を踏まえた取組をさらに推進することを目的に実施。
実績：医療機関及び保険者のアンケート集計、NDBオープンデータレセプトデータの集計、慢性透析患者等の集計など

③ 事業所への定期歯科健診推進事業

定期歯科健診を実施する事業所を増加させることにより、県民が定期歯科健診を受診できる機会の増加を図るとともに、事業所が定期歯科健診を実施するメリットの周知を図った。
実績：事業所向け研修として、当協会が主催する健康づくりセミナーにて、歯科口腔保健に関する講演をオンデマンド配信。(聴講数210回)
(商工会議所等の会報等に歯科健診に関する啓発広告を掲載)

